

新聞記者の読書

講師 中澤雄大 (毎日新聞記者)



「職種のデパート」と呼ばれる全国紙で働く記者もいろいろなタイプがいます。事件・事故・裁判から政局・国政・外交問題、さらに書評・文学・映画・古典芸能から論壇・オピニオンなどまで……幅広い分野の記事を書いてきたアラフィフ記者のお恥ずかしい読書遍歴の一端をお話しします。

2018

11/25 日

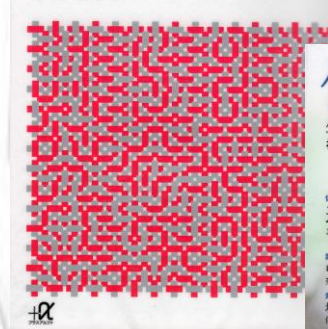
13:30～15:30 (開場13:00)

塩尻市市民交流センター(えんぱーく)

3階 多目的ホール

定員/60名(先着順) 参加費/無料

角栄の「遺言」
「田中軍団」最後の秘書
朝賀昭
中澤雄大



■ 申込方法

申込開始日10/7 (日)

- ①本館総合カウンター
- ②電話 (0263-53-3365)
- ③Eメール tosho@city.shiojiri.lg.jp

件名「11/25本の寺子屋申込」

本文 1参加者全員の氏名(フリガナ)、2代表者電話番号、3お住まいの地区、
4この講演会を何で知ったか(新聞、広報など)

中澤 雄大 なかざわ・ゆうだい

新潟県長岡市出身。1990年、毎日新聞社入社。

西部報道部を経て、政治部で首相官邸、外務省、国会、自民党などを担当し、

「戦後60年 天皇皇后両陛下サイパン慰霊へ」をスクープ。

近年では「没後45年 三島由紀夫 全集未収録・未発表書簡発見」

「生誕110年井上靖『終戦前後の日記3冊』発見」などを特報。

学芸部副部長を経て、現在は統合デジタル取材センター副部長。

著書に『角栄のお庭番 朝賀昭』（講談社）、『佐藤泰志 生の輝きを求めつづけた作家』（河出書房新社）など。